【広報さざんか２０１７年１１月号１面】

連載企画

地活協通信（ちかつきょうつうしん）

‘１４地域（とおり）のSTORY’

これまでも。これからも。

～vol. ６　加賀屋東～続けていくこと、それがまちづくり～

　地下鉄「北加賀屋駅」の南に広がるまちは、商店街や大きな病院があり、人の往来も盛んです。もとは同じ加賀屋小学校区だった加賀屋地域（１０月号で紹介）と住吉川地域（９月号で紹介）とともに、大正時代の中頃までは農地の広がる敷津浦村でしたが、木津川・住吉川・十三間堀川等の水運の便がよいことや広大な土地があったことなどから工業地域として発展していきました。戦後の復興が進む中、人口は増え、昭和２５年に加賀屋小学校分校ができ、その後昭和２８年に住吉川小学校として独立。そして昭和３３年に再び分校が建てられ、多くの子どもたちが学んだ後、昭和４７年に独立して加賀屋東小学校が開校。今の加賀屋東校区となりました。

　このように、地域の歴史や戦後から昭和の後半にかけての思い出は共通です。そして、新たな校区となり、それぞれの地域の物語が紡がれていくのです。加賀屋東では、少子高齢化の波に負けないよう地域のつながりをつくり続けています。

加賀屋公設市場（昭和１６年４月創立）のにぎわい

加賀屋福祉会館が建てられる前にあった住之江消防署

　加賀屋東地域では今、連合振興町会や食事サービス委員会などの活動を土台にして、さざんか加賀屋東協議会としてさまざまな取組みを行っています。協議会の高田会長、井上会計、健康部会の水原さんに昔と今を伺いました。

◆－昔の加賀屋東地域を振り返って－

高田　田んぼが広がっていて、体操の時間は、先生が「ザリガニ取りに行くぞ」と（笑）。分校だったり、仮校舎だったり毎年のように学ぶ校舎が変わった。

井上　僕は分校時代（笑）。昔は葦の原だらけで、万博に向けて高速道路ができるまで、十三間堀川は水がちゃんと流れていた。

水原　私が加賀屋東に来た時には、まだ地下鉄は玉出駅までしか通ってなかった。半世紀近いね（笑）。

◆とにかく子どもたちのことを

高田　とにかく子どもがたくさんいたから、もめ事があったら年長の子たちが話をして解決するみたいなところがあったのが僕らの時代。今は子どもが少なくなったから、そういうことも難しいけど、大人が知恵を出して地域で育んでいけたら。とにかくどんなに大変でも続けていくことが大事だから。

◆地域活動に興味を持っていただけるように

井上　僕は３２、３歳の頃、大和川右岸の水防団に入った。それが地域への最初の関わり。それから４０歳を過ぎて町会の役員になり、こうした地域活動に関わっている。今は時代背景もあって、こうした地域活動の後継者をさがすのもなかなか難しい。どこも苦労しているが、若い人に意義を感じてもらえるような取組みができたらと思う。

◆加賀屋東さくらまつり～企業との連携～

水原　区役所とまちづくりセンターが実施した「企業・NPO・学校・地域交流会」に参加してつながったことから始まった。最初は訳が分からず座っていただけだったけど（笑）。それで何かやろうとなり、多くの企業が連携・協力を申し出てくれ、加賀屋東さくら祭りの実現につながった。回数を重ね、課題も見えてきたからより工夫もしていけたら。

さざんか加賀屋東協議会

左から　高田会長、健康部会　水原さん、井上会計

（加賀屋福祉会館にて）

さくら祭りの様子

企業も参加しておもちつき（写真上）

園児も元気に参加（写真下）

清掃活動のご紹介

みんなの地域、みんなできれいに！

　各地域活動協議会では、道路や公園など身近な公共施設を定期的に清掃して、まちをきれいにしています。お時間があるときに地域のボランティアさんと一緒にお掃除しませんか？清掃活動は、地域活動協議会だけではなく、企業やNPO、社会福祉施設の方々も自主的に行われています。

公園清掃

　地域の子どもたちが遊んだり、近隣住民同士の憩いの場となる地域の公園。地域の皆さんが定期的に清掃活動を実施しています。

　利用する人たちが気持ちよく過ごせるように、公園内に放置された空き缶などのごみの回収をしたり、雑草を抜いたりしています。花壇がある公園では、いろいろな花の種をまいたり、花に水をやって公園にいろどりを与えています。

道路清掃

　普段皆さんが利用する道路やマンション・団地の敷地内も、地域の皆さんが定期的に清掃しています。タバコの吸い殻や路肩に放置されているごみなどを回収しています。

　大阪マラソン開催の日が近くなると、コース沿道の地域の方々を中心として、ランナーの皆さんが気持ちよく走れるように清掃活動しています。

河川清掃

　河川の遊歩道清掃も地域の方々が行っています。住之江区には、住吉川、大和川、十三間堀川といった大小さまざまな川が流れています。皆さんが気持ちよく川沿いを散歩したり、休息できるように定期的に活動しています。

　年に１回開催される「大和川クリーンアップ大作戦」に参加して、川沿いの地域の皆さんが一斉に清掃を実施する活動も。

【問合せ】住之江区まちづくりセンター

　　　　　電話６６５４－５０１７

地域の行事など各地域活動協議会のことはこちら

→<http://www.saza73.jp/suminoe-machisen/chikatsukyo.html>

地活協とは

地域活動協議会の略称です。全住民・事業所等が地域を支える新しい地域活動の仕組みです。各地活協はおおむねそれぞれの小学校区で活動を行っています。

【広報さざんか２０１７年１１月号２面】

区民優待企画

さんふらわあクリスマスクルーズ

「さんふらわあクリスマスクルーズ」に優待価格でご乗船いただけます！（要予約）

先着７００名様

【日　　時】１２月２３日（土・祝）●受付開始　９：１５　●乗船開始　１０：４５

　　　　　　　　　　　　　　　　　●出港　１１：４５　　 ●入港　１５：１５

【場　　所】大阪南港ATCコスモフェリーターミナル

【対　　象】区内在住・在勤・在学の方

【参 加 費】大　人…………３，６００円（通常３，９００円）

　　　　　　小学生…………１，７００円（通常１，９００円）

　　　　　　幼児（３歳以上）…８００円（通常１，０００円）

※参加費には乗船料・イベント参加料・消費税を含みます

※お食事の代金は含まれません

【予約センター申込締切】１２月２２日（金）１７：００　※締切前であっても、定員になり次第、受付を終了いたします。

【申込方法】

チケット予約時に、「さざんかを見ました」と伝え、クルーズ当日のフェリー乗り場窓口で区広報紙「さざんか」をご提示ください。（１家族、１グループまで適用）

【運行航路】大阪南港⇒大阪湾⇒神戸空港沖⇒明石海峡大橋の下を通過（折り返し）

ペア５組１０名様に乗船券プレゼント！

応募方法

ハガキに、住所・氏名・年齢・電話番号のほか、下記の設問にお答えください。

設問Ａ　どのようなイベントに興味がありますか？

　①お祭りなどの伝統行事　②バルなどのグルメ　③音楽　④スポーツ　⑤アート　⑥その他

設問Ｂ　住之江区からの広報紙やSNSを使った情報発信に一番何を求めますか？

　①情報量　②頻度　③写真や動画　④色使いやイラスト　⑤面白さ　⑥その他

【応募先】

〒５５９－８６０１　御崎３－１－１７　住之江区役所　総務課（企画）

「さんふらわあクリスマスクルーズ　チケットプレゼント」係

【応募締切】１１月３０日（木）当日消印有効

※発表は発送をもってかえさせていただきます。

【問合せ】

区民優待企画クルーズについて▶（株）フェリーさんふらわあ　電話６６１４－１０１３

チケットプレゼントについて▶総務課（企画）窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

詳しくはこちら！→<http://goo.gl/oFNugv>

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

Ｊ１上位進出をめざす

セレッソ大阪を応援しよう！

１１／２６は「住之江区民応援デー」を開催します！

　２０１７シーズンのＪ１リーグが2月25日から開幕し、大阪市をホームタウンとするセレッソ大阪は、ファンの皆さまのご声援をいただき、今年はＪ１上位進出をめざし戦いを続けています。ホームゲームを、住之江区に在住・在勤・在学の皆さまは優待価格で入場いただけます。Ｊ１上位進出をめざすセレッソ大阪を応援しよう！

優待料金で観戦できます！　※優待販売は前売のみとなります。試合当日の優待販売はございません。

【日　　時】１１月２６日（日）１３：００キックオフ

　　　　　　対　ヴィッセル神戸　開場時間１１：００（予定）

【場　　所】ヤンマースタジアム長居（東住吉区長居公園１－１）

【席種・価格】ホームサポーター自由席

　　　　　　　大人・高校生１，５００円（通常前売２，２００円）

　　　　　　　小中学生５００円（通常前売８００円）

【販売期間】１１月２３日（木・祝）２３：５９まで

【購入方法】

・優待販売はセブンイレブン、サークルK・サンクスの店頭での前売のみとなります。（お一人様４枚まで）

・購入にはＰコード：８３４－８４５が必要となります。

・試合当日は「引換券」をチケットに交換していただきます。

※購入方法など詳細につきましてはこちら

→<http://www.cerezo.jp/news/2017-08-25/>

住之江区出身！

丸橋祐介選手

特設応援コーナー

設置します！

１１月１０日（金）～２７日（月）の間、丸橋祐介選手の等身大パネルやグッズを庁舎内1階住之江区民ギャラリーに展示し「住之江区民応援デー」を盛り上げます！

【申込み・問合せ】

〈チケットについて〉セレッソ大阪事務局　電話６１１０－５６５７

営業時間：９：３０〜１２：３０・１３：３０〜１７：００（土・日・祝日及びホームゲーム開催日と翌月曜は除く）

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

地区人権学習会

どなたでも参加いただけます。

申込不要

無料

地区名 内容 日時 場所 住所

南　港 「さとにきたらええやん」泣き笑い映画会 １１月１１日（土）１４：００～ ポートタウン西ビル２階大会議室 南港中３－２－７７

住吉川 モンゴル伝統音楽　草原の風コンサート １１月１２日（日）１０：３０～ 住吉川小学校講堂 西加賀屋４－１－４

住之江 ミスサリバン（プロジャグラー）の前向きアクティブ講座 １１月１９日（日）１３：３０～ 住之江小学校講堂 御崎４－６－４３

安　立 ふれあいシアター「ハルをさがして」 １１月２５日（土）１４：００～ 安立小学校講堂 住之江１－４－２９

敷津浦 モンゴル伝統音楽　草原の風コンサート １１月２６日（日）１３：００～ 敷津浦小学校多目的ホール 北島２－９－２２

粉　浜 モンゴル伝統音楽　草原の風コンサート １２月２日（土）１４：３０～ 粉浜中央福祉会館４階大会議室 粉浜２－９－１４

各地区の受付開始は、開演時間の30分前から

【問合せ】区協働まちづくり課　窓口㊸番　電話６６８２－９８３２　FAX６６８６－２０４０

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

万博とわたし

住之江区役所　総務課長　谷上　武

　リモコンのボタン一つで離れたところからテレビのスイッチが入る。電線がつながっていなくても話ができる無線電話…。７０年の大阪万博は、ドキドキ、ワクワクがいっぱいでとても楽しかったです。その時に両親に買ってもらったスタンプ帳はそんな思い出がいっぱいの宝物です。

【広報さざんか２０１７年１１月号３面】

広報さざんか　平成２９年（２０１７）１１月１日　No.２５８号　すみのえ掲示板（今月のお知らせ／子育て情報）

今月のお知らせ

輝け！未来のオリンピアン！！

　安立小学校６年生の高嶋悠雅さんが、８月に開催された第４０回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会における「５０m自由形」並びに「５０mバタフライ」において見事第１位に輝きました！

　また、同小学校５年生の山口愛さんも、第４回全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦３４キロ級において見事優勝を勝ち取られました。

　区ホームページでもご紹介していますので、皆さまぜひご覧ください。

→<http://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000414162.html>

→<http://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000414505.html>

問合せ

区総務課　電話６６８２－９９９３

区選挙管理委員会啓発ポスター　コンクール作品募集について

　選挙に関心をもってもらえるようなポスターを募集します。

内容　明るく未来のある選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。

応募資格　区内の小学校・中学校・特別支援学校に通う方、もしくは区内にお住まいの方（１人１点、自作に限ります。）

募集締切　平成３０年１月１２日（金）

提出先　通学している学校へ提出、もしくは区総務課窓口㊶番へお持ちください。

大きさと色　四ッ切もしくは八ッ切（画材料・色彩は自由）

※応募作品は原則お返しします。

※入選作品に選ばれた方には、表彰式を行い賞状をお渡しします。

　詳しくは区ホームページをご覧いただくか、お問い合わせください。

→<http://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000414074.html>

申込み・問合せ　区総務課選挙管理委員会

（区役所内）窓口㊶番　電話６６８２－９６２６

医療費助成制度の変更について

　平成３０年４月から医療費助成制度が変わります。

　そのため、新たに対象者となると見込まれる重度の精神障がい者の方、及び重度障がい者医療費助成からひとり親家庭医療費助成またはこども医療費助成へ移行できると見込まれる方に対し、医療証交付申請書を１１月下旬頃にお送りしますので、締切日までにお住まいの区の保健福祉センター医療助成業務担当までご返送ください。内容を審査のうえ、該当する方には３月上旬に医療証を交付します。

※難病法の助成対象者、特定疾患医療受給者のうち障がい年金１級相当の方または特別児童扶養手当１級相当の対象児童の方、及び裁判所からDV保護命令が出されたDV被害者の方についても新たに医療費助成の対象者となります。該当される方はお住まいの区の保健福祉センター医療助成業務担当にて申請してください。

問合せ

区保健福祉課　窓口③番

電話６６８２－９８５７

子育て情報

子育て支援室のわくわく子育て

子育てに関するご相談は、お気軽に子育て支援室をご利用ください

◎オレンジリボン

　皆さんは「オレンジリボン」マークを見たことはありますか？毎年１１月は「児童虐待防止推進月間」です。最近では、ピンクなどさまざまな色のリボンで啓発活動が行われているので、リボンマークを目にする機会も多いと思います。子どもの虐待防止活動では、オレンジ色のリボンがシンボルマークになっています。

　子育ての中では楽しさや喜びよりも、どうしたらいいのか分からなくなったり、困ったり、悩んだり、葛藤したりすることの方が多いかも。そんな時に「虐待」という言葉を耳にしたりすると、一生懸命に育児をしてきた日頃の努力を否定しているように感じてしまうかもしれません。もし、何か悩んだり困ったりした時は、迷わずオレンジリボンを目印にSOSを出してください。子育て支援室をはじめ保健師、主任児童委員、保育所・幼稚園・学校、地域でたくさんの人が「一緒に子育てをしましょう」といつでもそばで見守っていますよ。

問合せ　区保健福祉課　窓口③番　電話６６８２－９８７８・９８８０（子育て支援室）

【広報さざんか２０１７年１1月号４面】

広報さざんか　平成２９年（２０１７）１１月１日　No.２５８号　すみのえ掲示板（健康情報／各種相談）

健康情報

インフルエンザを予防しよう！

　インフルエンザは毎年、１２月下旬から３月上旬に流行します。感染力が強く、感染した人の咳やくしゃみなどによってウイルスが飛び散り、それを吸い込むことで感染します。感染すると、３８度以上の高熱、頭痛、のどの痛み、せき、鼻水、筋肉や関節の痛みが出ます。下痢などの症状が出ることもあります。これらの症状があるときは受診してインフルエンザかどうかの診断を受けましょう。

☆感染予防のポイント☆

◎流行前にワクチン接種

◎手洗いうがいの習慣化

◎人ごみを避ける

◎温度（２０℃前後）・湿度のコントロール（５０～６０％）

◎規則正しい生活をする

　また、大阪市では、６５歳以上の方にインフルエンザ予防接種費用の助成を行っています。

問合せ　区保健福祉課（地域保健活動）

　　　　窓口㉛番

　　　　電話６６８２－９９６８

※予防接種費用の助成については

　区保健福祉課（健康支援グループ）

　窓口㉛番　電話６６８２－９８８２

各種健診・予防接種のお知らせ

予約 種別・費用 実施日時（受付時間）・場所 対象（大阪市民で）

要 胃がん検診（胃部Ｘ線撮影）５００円 １２月１０日（日）９：３０～１０：３０分館　１月２４日（水）９：３０～１０：３０分館 ４０歳以上の方　※かく痰検査は５０歳以上でハイリスク対象者のみ

要 大腸がん検診（便潜血検査）３００円 １２月１０日（日）９：３０～１０：３０分館　１月２４日（水）９：３０～１０：３０分館 ４０歳以上の方　※かく痰検査は５０歳以上でハイリスク対象者のみ

要 肺がん検診（胸部X線撮影・かく痰検査）無料（かく痰検査は４００円） １２月１０日（日）９：３０～１０：３０分館　１月２４日（水）９：３０～１０：３０分館 ４０歳以上の方　※かく痰検査は５０歳以上でハイリスク対象者のみ

要 乳がん検診（マンモグラフィ検査）１,５００円 １月１５日（月）９：３０～１０：３０分館 ４０歳以上の女性で隔年受診（昭和・大正偶数年生まれ）

要 肝炎ウイルス検査（Ｂ型・Ｃ型）無料 １２月１日（金）１０：００～１１：００分館　１月２６日（金）１０：００～１１：００分館　２月２日（金）１０：００～１１：００分館 ２０歳以上の感染不安がある方

要 風しん抗体検査　無料 １２月１日（金）１０：００～１１：００分館　１２月１４日（木）１５：００～１６：００分館　１月１８日（木）１５：００～１６：００分館　１月２６日（金）１０：００～１１：００分館 妊娠を希望する女性または妊娠を希望する女性の配偶者（妊婦の配偶者を含む）　※検査には条件がありますので、お問い合わせください。

不要 特定健康診査　無料 １２月１０日（日）９：３０～１１：００分館　１月２４日（水）９：３０～１１：００分館 大阪市国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入の方（４０歳以上）

不要 歯科健康相談　無料 １月２４日（水）９：３０～１０：３０分館 １８歳以上の方

不要 ＢＣＧ接種　無料 １１月２２日（水）１３：３０～１４：３０分館　１２月２０日（水）１３：３０～１４：３０分館　１月２４日（水）１３：３０～１４：３０分館 生後５～８か月未満の方

不要 結核健診（胸部X線撮影）無料 １１月８日（水）１０：００～１１：００分館　１２月１日（金）１０：００～１１：００分館　１月２６日（金）１０：００～１１：００分館 １５歳以上の方

予約・問合せ　区保健福祉課（健康支援）　窓口㉛番　電話６６８２－９８８２

場　所

分館＝区保健福祉センター分館（浜口東３－５－１６）

　　　区役所から徒歩５分

各会場へは、公共交通機関をご利用いただき、ご来場くださいますようお願いいたします。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

母親教室　無料　申込不要

日　時　１１月１３日（月）・２０日（月）・２７日（月）１３：３０～１５：３０

内　容　お話しや実習、交流会

　　　　３回コース（２０日は「妊婦歯科健診」併設）

対　象　３月頃出産予定の方（２月予定以前の未受講の方）

赤ちゃん交流会　無料　申込不要

日　時　１１月２０日（月）１３：３０～１５：００

内　容　情報交換と交流会、育児相談

対　象　１～３か月のお子さんと保護者

場　所　区保健福祉センター分館２階

問合せ　区保健福祉課（地域保健活動）　窓口㉛番　電話６６８２－９９６８

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

こころの健康講座

『うつ』ってなーに？

～うつ病の予防と早期発見～　無料　申込先着１００名

　うつ病はだれでもかかる可能性のある病気です。うつ病の予防と早期発見について専門医から学んでみませんか。

内　容　精神科医による講義

日　時　１２月８日（金）１４：００～１６：００

場　所　すみのえ舞昆ホール（区民ホール）

対　象　区内在住、在勤の方

申込方法　電話・窓口で、住所・氏名・年齢・電話番号・「こころの健康講座」とお伝えのうえ、お申込みください。

申込締切　１２月１日（金）

主催・共催　区保健福祉センター

申込み・問合せ　区保健福祉課（地域保健活動）　窓口㉛番

　　　　　　　　電話６６８２－９９６８

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

予約 種別・費用 実施日時（受付時間）・場所 対象（住之江区民で）

要 こころの健康相談（専門医による精神保健相談）無料 １１月２０日（月）１４：００～区役所　１２月７日（木）１４：００～区役所 すべての方

予約・問合せ　区保健福祉課（地域保健活動）　窓口㉛番

　　　　　　　電話６６８２－９９６８

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

各種相談

★は要予約

各種相談はすべて無料・秘密厳守です。

実施日時（受付時間） 場所 問合せ

弁護士による法律相談★ １１月７日（火）、１４日（火）、２８日（火）、１２月５日（火）１３：００～１７：００　定員１６名　※２８日は２４名 区役所４階相談室 当日９：００～電話予約（先着順）　区総務課　窓口㊷番　予約電話番号　電話６６８２－９６８３

行政相談 １１月２１日（火）１３：００〜１６：００（１５：００受付終了） 区役所４階相談室 区総務課　窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

司法書士による法律相談 １１月２０日（月）１３：００〜１６：００（１５：３０受付終了）定員６名（先着順） 区役所４階相談室 区総務課　窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

花と緑の相談日 １１月１４日（火）１３：３０〜１５：００ 区役所１階　きずなステーション 長居公園事務所　電話６６９１－７２００

行政書士による市民相談 １１月２４日（金）１４：００〜抽選にて相談順を決定（抽選後、空き有の場合１６：３０まで受付可）定員６名（相続などの相談可） 区役所１階　きずなステーション 大阪府行政書士会住吉支部　電話６６７８－３８７１

専門相談員による人権相談★ 相談日時、場所につきましては、調整させていただきます。　大阪市人権啓発・相談センター　電話６５３２－７８３０（相談専用電話）FAX６５３１－０６６６　９：００～２１：００（日祝１７：３０まで）※土曜休み

ひとり親家庭相談★ 毎週水曜・木曜９：１５～１７：３０（年末年始・祝日除く） 区役所１階　保健福祉課 区保健福祉課　窓口③番　予約電話番号　電話６６８２－９８５７

障がい者・高齢者・子どもの暮らし何でも相談会★ １１月１０日（金）１１：００〜１４：００ 区役所１階　きずなステーション 区地域自立支援協議会　区障がい者相談支援センター　電話６６５７－７５５６（担当：平下・大崎）

市民ナイター法律相談 １１月２１日（火）１８：００〜２１：００　開催日当日、受付開始までに来場された方で抽選を行い、相談の順番を決定（受付は１７：３０〜２０：００まで、先着順４０組で定員到達時で受付終了。） 北区民センター（地下鉄堺筋線「扇町」、JR環状線「天満」） 大阪市総合コールセンター｢なにわコール｣　電話４３０１－７２８５　　FAX６３７３－３３０２　（８：００～２１：００　年中無休）

日曜法律相談★ １１月２６日（日）９：３０〜１３：３０　事前電話予約。予約受付日時１１月２２日（水）、２４日（金）９：３０〜１２：００。予約専用電話番号６２０８－８８０５。各会場先着順１６組で定員到達時で受付終了。 港区役所（港区市岡大宮１－１５－２５） 大阪市総合コールセンター｢なにわコール｣　電話４３０１－７２８５　　FAX６３７３－３３０２　（８：００～２１：００　年中無休）

犯罪被害者等支援のための総合相談窓口 ９：００～１７：３０（土日・祝日・年末年始を除く） 市民局人権企画課（市役所４階） 市民局人権企画課　電話６２０８－７６１９　FAX６２０２－７０７３　※問合せ可能日時（９：００～１７：３０、土日・祝日・年末年始を除く）

【広報さざんか２０１７年１１月号５面】

催し

区青少年育成推進大会　講演会　無料　先着１００名

　区青少年育成推進大会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時　１１月１７日（金）１９：３０～

場所　すみのえ舞昆ホール（住之江区役所２階）

内容　①住之江警察署による区内の少年非行の現状報告②講演会「LGBTについて知る〜普通ってなんだろう〜」〔講師：村上　貴大さん（NPO法人　HIVと人権情報センター所属）ファシリテーター：大谷　邦郎さん（元ＭＢＳラジオ報道部長）〕

問合せ　区協働まちづくり課　窓口㊸番

　　　　電話６６８２－９８３２

１住之江区花ボラ会　押し花アート講習会　申込制・先着２０名

　押し花を使って、来年の干支（戌）を作成します。講師は、区役所前の花壇の花植えや手入れをしている「住之江区花ボラ会」です。（ハガキ大　額付）

日時　１１月２８日（火）１３：３０～１５：００（受付：１３：００～）

場所　すみのえ舞昆ホール（住之江区役所２階）

対象　住之江区にお住まいの方

費用　３００円

２さざぴーグリーン倶楽部　寄せ植え講習会　申込制・先着１００名

　さざぴーグリーン倶楽部の方が講師となり、寄せ植え講習会を開催します。

日時　１２月５日（火）１３：３０～（受付：１３：００～）

場所　すみのえ舞昆ホール（住之江区役所２階）

持ち物　手袋、花を持ち帰る袋、汚れてもよい服装

対象　住之江区に在住・在勤の方

費用　１,５００円

▼１２とも▼

申込期間　１１月６日（月）～２０日（月）

申込方法　ＦＡＸまたは往復ハガキにて、お名前、ご住所、電話番号（ＦＡＸ番号）をご記入のうえ、お申込みください。

申込み・問合せ

花と緑のまちづくり推進委員会

電話６６８２－９９７６　FAX６６８２－９７９８

〒５５９－８６０１　御崎３－１－１７

住之江区在宅医療・介護連携推進区民フォーラム　無料　申込不要　先着３００名　手話通訳あり

内容

①（医）中島クリニック　中島　静一先生　講演会

　「アドバンス・ケア・プランニングって？」

　〜私らしいエンディングのために〜

②南港地域の医療・介護を支える専門職の皆さんによるシンポジウム

　在宅医療・介護の連携の現状について

日時　１１月２５日（土）１４：００～１６：００（開場１３：３０）

場所　南港ポートタウン西ビル　２階大会議室（南港中３－２－７７）ニュートラム「ポートタウン西駅」

問合せ　区保健福祉課　窓口㉛番

　　　　電話６６８２－９８８２　FAX６６７３－０２２０

ATCチケットプレゼント！

レゴⓇブロックで遊ぼう

BRICKLIVEⓇ　in　JAPAN　２０１７

５組１０名様

日時　１１月２３日（木・祝）～１１月２６日（日）９：３０～１６：３０（最終入場時間　１６：００）

　　　最終日は９：３０〜１６：００（最終入場時間　１５：３０）

場所　大阪南港ATCホール

入場料　大人（１３歳以上）前売券：１,２００円（当日券１,５００円）

　　　　子ども（３～１２歳）前売券：８００円（当日券１,０００円）

イベント内容の問合せ

　　　　BRICKLIVE®JAPAN事務局　電話０１２０－２－０５２６９（１０：００〜１７：３０）

応募方法　ハガキに、住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、下記までご応募ください。

応募先　〒５５９－８６０１　御崎３－１－１７

　　　　住之江区役所　総務課（企画）　窓口㊷番

　　　　「さざんか１１月号ATCチケットプレゼント」係

応募締切　１１月１３日（月）当日消印有効

※発表は発送をもってかえさせていただきます。

チケットプレゼントの問合せ

区総務課（企画）　窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

<http://s.atc-co.com/event/001475/>

【広報さざんか２０１７年１１月号７面】

特別企画

住之江区「まちづくり」進化中！

今、住之江区では、１４ある地域活動協議会の活動支援や、これら地域と企業等多くの活動主体が連携して、地域課題の解決や活性化などのまちづくりに取り組んでいます。その取組みの一部をご紹介します。

新しいスタイルは

「はじまりのはじまりを

いっしょにつくる。」

住之江区　まちづくりセンター

スーパーバイザー

藤原　明氏

Interview

異なるもの同士が

つながった瞬間、

新たな何かが

生まれることを

期待して。

住之江区長

西原　昇

【広報さざんか２０１７年１１月号８面】

まちづくりの仕掛け人に聞く「住之江区のまちづくり」

西原区長×藤原　明氏

当区まちづくりセンターのスーパーバイザーをしていただいている藤原氏に「住之江区のまちづくり」についてうかがいました。

藤原　明　｜　プロフィール・実績

大阪市出身。りそな総合研究所　リーナルビジネス部長。

２００７年８月米国国務省IVLP（インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム）招聘。雑誌『AERA』では「日本を突破する１００人」に選出される。

天神橋筋商店街定期預金「百天満天百」をきっかけとした繁昌亭チャリティ寄席、オリジナル清酒醸造による商店街活性化、FM８０２アートプロジェクトdigmeoutとの「RESONART」キャッシュカード、魔法瓶メーカーとの「マイすいとう」「マイボトル」など多数の協働企画を展開。企業・地域における活性化の取組みは５００を超え、その有機的なネットワークが広がる「わらしべ長者」的展開は各所で反響を呼んでいる。

２０１４年４月より住之江区まちづくりセンタースーパーバイザーとして、地域活動協議会の立ち上げや、まちづくりを支援。

～まちづくりって実は面白い～

西原　一般の区民の方にとっては「まちづくり」ってなかなかピンとこないかもしれませんが、どう思われますか？

藤原　そうですね。まちづくりだとか地域課題とかいうと、自分とは遠いように感じるかもしれませんが、試しに「自分の生活課題」と考えてみていただけると実はすごく面白いんじゃないでしょうか？

西原　面白いって感じてもらうって非常に重要なポイントですね。

藤原　ええ。自分が生活する中で、「こんなこと困ってるな」とか「こういうものがあれば助かるんだけど」ってあるでしょう？それが「自分の生活課題」なんですね。「じゃあ、その課題を地域で一緒に考えて、みんなで解決していきましょう」というのがまちづくりなんです。

西原　なるほど身近に感じますね。

ところで、住之江区まちづくりセンター（１０ページ参照）のスーパーバイザーをしていただいている藤原さんご自身についてお話を伺っていいでしょうか？プロフィールを拝見すると素晴らしいご活躍ですが、銀行員でありながらなぜまちづくりを？

藤原　まちづくりに関しても、いろんな方々が関わってアクションがあれば、それでまたいろんなマーケットができますが、銀行はその最後のお金のところでようやく出番が来るんですよ（笑）。大学時代、商業施設とかのまちづくりに関連するようなゼミにいたというのがベースにありましたので、銀行も最初のところから関わっちゃう新しいスタイルにできないかなとずっと思っていました。それが、りそなショックをきっかけに新しい銀行像を創ろう！ってなったときに、大学時代も含めた今までの経験も銀行という存在みたいなのも全部活用できるし、これはもうやるぞと。かれこれ１５年になりますね。

西原　住之江区でも、藤原さんのご助言のもと、「地域の未来像を語り合う懇談会」や「企業・NPO・学校・地域交流会」を開催して、いろいろな取組みが生まれています。これは藤原さんのお考えになった手法でやっていただいているんですよね。

藤原　最初５年くらいは自分でプロジェクトをプロデュースしていたんですけど、それだけだと広がらないし、続かないので、今度はみんなができる仕組みにせえと銀行内で言われたんですよ（笑）。それで試行錯誤して今の形になりました。

西原　長い間の思いや経験が形になっているんですね。実際にはどんな手法なんでしょうか？

藤原　地域における本質的課題「やるべきこと」を明らかにして、企業・大学・NPO・市民活動団体などの「強み」とマッチングさせ、地域における新しい共有価値を創造していこうというものです。これは、全国各地で同じやり方でやっています。必ず地域のお悩みがあって、そこに企業やNPOなどが一緒になって解決できることがどこの地域でも見えてきています。こういうのがもっともっと広まったら、お互い楽やのになあと思います。

～大きなイノベーションへ。広がる可能性～

西原　僕も違う人と違う人とがこうつながった瞬間に、何か新たなものができあがるっていうのは非常に面白いし、実はそういうことこそが世の中を変えてきているんではないかなと思っているので。

藤原　おっしゃるとおりですね。だから、こうした地域活動がイノベーション（刷新）の素になっていくような可能性をすごく感じますよね。住之江区でやっている「企業・NPO・学校・地域交流会」でも、皆さんが混じりあってなんかひらめく瞬間、化学反応が起きる瞬間みたいなものがあるんですよね。これは大阪市の地域活動協議会設立とともにいくつかの区から始まったものなのですが、これが大阪のまち全体に、もっともっと広がっていけばなあという感じですね。地域活動協議会が出来てからの５年間はとても面白いです。

～よってたかって協働するまちづくりを～

西原　最初は区役所にさそわれて…って感じで交流会にこられている方が、いざ始まってみるとすごく熱心に地域の課題を話し合われてるのが、本当にありがたいし、わくわくします（笑）。

実は、「まちづくり」っていうとそれ行政の仕事ちゃうんかっていう反応が多いんです。でも、それは違いますよという話をその度にするんです。

藤原　そうなんです。だから自分の生活の課題ってとらえていただいて、それが他の多くの方にとっても課題だったりする、そこを変えるんだ、みたいに。自分のことにしていただく。私はいつも、地域の方々だけで解決しなくていいですよ、とうるさいぐらいに言ってます（笑）。いろんな方々を巻き込んでやらないと解決なんてできないです。自分たちが本当に困っていることを正確に伝えて、そこを起点に企業などを巻き込んで、そこから何か新しいものが生まれるんじゃないかと。

西原　地域でまちづくりをしている方々は、年齢とか、性別などが、比較的固定されていて、少し流動性が足りない面があると思うんです。そこに、企業やNPOの若手が入ってきてくれたら発想も変わってくる。たとえば、地域に対して、企業がもっとこっちの方をやったほうがいいんじゃないかと提案してくださったりするとか。そうしたことを期待したいんですよ。

藤原　そうですね。地域の方と一緒に考えていただく。会話を繰り返すことで、だんだん整理されていくところがあるので。特に、企業はニーズをつかむのが商売ですから。地域の皆さんのお話を聞いて、そこから課題を引き出していくというような話し合いができたらもっと進化して面白いと思うんですよ。

～まちづくり。住之江区は面白い！～

西原　今まで住之江区のまちづくりに関わってこられて、いかがでしょう。

藤原　いやぁ、住之江区は本当に面白いです！

西原　ありがとうございます（笑）。どの辺りが面白いと？

藤原　住之江区の「企業・NPO・学校・地域交流会」ですけど、あれだけ企業やNPOが集まる規模はなかなかないですね。毎回、あれだけ集まるネットワークを作られたのはすごい。

西原　住之江区の企業やNPOは、これをしたいなという何か強い思いを持ってくださってるんでしょうね。

藤原　あるんでしょうね。たぶんですが、つながってやってきた自負のようなものが。

西原　ええ。そして地域も柔軟に受け入れてくださっている。本当にありがたいことで、ぜひさらに進化させていきたいですね。

【広報さざんか２０１７年１１月号９面】

住之江区・企業・ＮＰＯ・学校・地域交流会とは？

　お互いの「強み」と「強み」を組み合わせれば、今までできなかったことができる。例えば、「家に車はあるけど、免許のない人」と「免許はあるが、車のない人」が出会い意気投合すれば、ドライブに行ける。

　住之江区では、そんな「つながりによるまちづくり」を応援しています。

　「業種を超えた出会いの場づくり」「コーディネート（つなぎ）役」「情報収集と発信」が応援ポイント！

　住之江区には、「地域社会をもっと盛りあげたい」という熱いハートを持った地域、企業、ＮＰＯ、学校、病院、福祉施設・機関等の関係者がたくさんいます。そこで「企業・ＮＰＯ・学校・地域交流会」を平成２５年度から年３回程度開催しています。キーワードは、「地域貢献」。年々、新たな仲間が加わって、それぞれの立場で交流会に意義を見出していただき、今では、毎回１００名を超える会に成長しています。

　この交流会からは、今まで約４０ものつながりによる「取組み」が行われていますが、今回はその中から３つご紹介します。

■行政やまちづくりセンターに望む役割について（H２５企業・事業所等へのアンケートから）

内　容 件　数

地域住民と企業をつなぐコーディネート機能の充実 ２７

地域住民と企業の協働に関する情報提供 ２５

活動支援等の相談機能や連絡体制の充実 １７

住民や地域団体、NPO、社協等との交流協働の場の設定 １５

地域住民と企業の協働に関するルールづくり １４

特になし ５

その他 ３

関与すべきでない ０

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

企業・ＮＰＯ・学校・地域交流会をきっかけに生まれた、３つの取組み事例

CASE.１　企業

「高齢者の買いものを手助けしたい地域」

×

「物流で培ったネットワーク」

特選青空市場「ふれあいマルシェ」

つながって仲間に▶さざんか平林協議会×NPO法人ふれコミ

いっしょに何を？▶毎月第１・３木曜日１０：００～１５：００、平林福祉会館において開催されているふれあい喫茶「ひら茶」に合わせて、産直野菜を販売しています。

　物流を専門とする会社が「企業として新しい付加価値を」と始めた、付き合いのある農家からの産直野菜・特産物等の販売。そのうち「荷物が重くて持って帰るのがつらい」「話をする人がいないので寂しい」などのお客様の声を聞くようになりました。そこで、お客様に対してもっと何かお手伝いできるのではとの強い思いから、「NPO法人ふれコミ」を立ちあげ、地域の集会所等で産直野菜や米を販売するようになりました。

　「企業・NPO・学校・地域交流会」で出会った平林地域は、ボランティア活動が盛んで、特に女性陣が明るく元気。コミュニティづくりのためのふれあい喫茶「ひら茶」を毎週開催し、そのおもてなしの心で、毎回１００人前後の賑わいを見せていることに感銘を受けたそう。

　交通手段を持たない高齢者層を中心にスーパーなどが遠いという課題を抱えた地域と意気投合し、準備を重ね、平成２７年４月から「ふれあいマルシェ」をスタート。

　今では、地域は自らで会館までの送迎バスを運行、ふれコミはマルシェで購入した商品を後日自宅へ届けるサービスを開始するなど、ますます充実しています。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

CASE.２　学校

「若者をまきこみたい地域」

×

「看護学生の学びの場」

看護学生がふれあい喫茶・高齢者食事サービスで交流体験

つながって仲間に▶南大阪看護専門学校×大阪市住之江区住吉川地域活動協議会・さざんか加賀屋協議会・さざんか加賀屋東協議会・さざんか平林協議会・さざんか南港緑協議会・さざんか清江協議会

いっしょに何を？▶ふれあい喫茶等で看護学生がボランティア。高齢者のお話し相手になるなど交流を深めています。

　南大阪看護専門学校では、在宅看護論実習で加賀屋地域の緑木ふれあい喫茶に参加し、普段、病院内でしか高齢者と接する機会がない看護学生のため、高齢者と交流できる機会を設けていました。さらに幅広く高齢者と交流する場を求めてまちづくりセンターに相談したことがきっかけで、平成２７年から老年看護学概論講義の一環として、５地域のふれあい喫茶や高齢者食事サービスに参加し、交流の輪を広げています。力強く生活を楽しんでいる高齢者の姿を見て、病院で療養されている方々の療養前の様子を知ることができ、入院されている方々の援助に繋げることができています。

　各地域のスタッフも未来の看護師さんたちのため喜んで実習を受け入れ、参加している高齢者の皆さんも若い学生さんとの交流により、楽しい時間を過ごしておられます。「企業・NPO・学校・地域交流会」への参加をきっかけに、運動会やハロウィンなどの地域行事をボランティアとして応援するなど学生の学びの場が広がっています。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

CASE.３　大学

「住み続けたいまちにしたい地域」

×

「大学の学術ノウハウ」

地域住民へのニーズアンケート

つながって仲間に▶さざんか南港緑協議会×森ノ宮医療大学

いっしょに何を？▶「高齢者の住みやすいまち」をめざし、地域の取組みに反映させるための住民ニーズアンケートを作成・実施

１０月１日（日）～１５日（日）

　南港緑地域は高齢化率の高いまち。だからこそ、高齢者が少しでも生活しやすいように、みんなで助け合い、いくつになっても明るく活き活きと暮らしていけるまちにしたいとの思いを強く持っていました。

　平成２８年１２月に南港で開催された「企業・NPO・学校・地域交流会」では、「高齢者の住みやすいまち」をテーマにそんな思いを込めてプレゼンテーション。続くワークショップで企業等と意見交換する中、「まずは高齢者の実際のニーズを把握しなければ効果的な支援を行うことはできない」と地域住民にアンケートを実施することになりました。

同じく交流会に参加し、地域の熱い思いに感銘を受けた森ノ宮医療大学が、学術ノウハウを活かしてアンケート作成にかかる指導相談役を引き受け、実現に向かってスタート。

　その後、さきしま地域包括支援センターや住之江区社会福祉協議会も参画し、約半年間をかけて話し合い、皆の想いをA３用紙１枚に凝縮したアンケートが完成。平成２９年１０月に配付することができました。南港緑地域の「高齢者になっても住みやすいまち」づくりは、地域、大学、企業が一丸となって前進しています。

【広報さざんか２０１７年１１月号１０面】

こんにちは！「住之江区まちづくりセンター」です。

まちづくりセンターとは？

　住之江区では、活力ある地域社会づくりに向けて、地域の皆さん自らが、防犯・防災、高齢者、子ども・青少年、環境など、地域のさまざまな問題の解決や地域コミュニティの活性化するために、色々な活動やイベントを行っています。そして、さまざまな団体が力をあわせて取り組むためのしくみが、地域活動協議会です。

　住之江区まちづくりセンターは、住之江区社会福祉協議会が住之江区から受託し、区内１４の地域活動協議会の運営（会計処理やイベントなどの企画）や情報発信の支援、さらには企業やNPO等との橋渡しなどを行っています。

どこにあるの？どんなスタッフがいるの？

　区役所の４階にあります！　アドバイザー１名と支援員４名で区内を走り回っています！　地域行事等でみかけたら声をかけてください！！

これまでの実績は？？

　・地域の未来像を語り合う懇談会を平成２５年より毎年開催

　・企業・NPO・学校・地域交流会を平成２５年より毎年開催（９ページ参照）

　・地活協・人材発見ミーティング＆シンポジウム開催（平成２８年２月）

　・防災ママカフェ＆防災パーティー開催（平成２９年９月）

「地域活動や行事が知りたい」や「特技や技能を活かし地域に貢献したい！」とお考えの方、お気軽にまちづくりセンターまでご連絡ください。

住之江区まちづくりセンター　電話６６５４－５０１７

住之江区まちづくりセンターで検索

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

そして「地域活動応援サークル」がスタート！

　業種を超えた社会人の地域貢献サークル！企業・NPO・学校・地域交流会の参加者のうち、「もっと地域のことを知りたい」「もっと地域に関わりたい」との思いを持った有志が参加し、サークルのキックオフミーティングを開催しました。

　当日は、会社経営者・ドラッグストアの薬剤師・障がい者相談機関のスタッフ・大学講師・病院の管理栄養士・包括支援センターの方々など、多種多様な２２名の皆さんが集合！

　藤原明スーパーバイザー特製の「自己紹介シート」を用い、「成功体験」「失敗体験と克服法」等のパーソナルエピソードを発表。大いに共感し合い、今後何かが生まれる期待感がふくらみました。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

地域活動応援サークルに参加していただいている３社にインタビュー

私たちの考える地域貢献と事業創造

日本マクドナルド株式会社フランチャイジー

有限会社サクセスフーズ　久米　利雄さんの写真

株式会社ココカラファインヘルスケア

畑　慎志さんの写真

セイコー運輸株式会社

宮高　豪さんの写真

１　今までの地域貢献について

（久米）有限会社サクセスフーズが運営している住之江区内のマクドナルドでは、区内の子ども会に関連したスポーツ大会や文化祭で当社の商品や、スポーツ大会などで優勝したチームへのカップやメダルの提供をさせていただいています。また、障がいのある方や子ども、高齢者の方にハンバーガーを作ってもらい、その体験の中で楽しんでもらったというのも地域貢献のひとつですね。

（畑）株式会社ココカラファインヘルスケアの経営理念が「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」ということで、定期的に薬剤師会や地域包括支援センターの方々と連携を取りながら、地域交流会や健康講話、勉強会といったことをさせていただいています。また、健康以外では美容のほうにも力を入れており、美容関係のアドバイス等、生活全般をサポートさせていただいています。

（宮高）セイコー運輸株式会社ではヘルパーや整理収納の資格を持った社員のいる運送会社として、高齢者の方に寄り添った引っ越しサービスを行っています。全国の運送会社にもノウハウを提供しています。また、写真撮影の特技を持った社員の強みを活かして、お引っ越し時に記念撮影。そのコンテンツを地域の撮影会にも提供しています。

２　これからの地域貢献の夢

（久米）　区内の子どもたちが元気よく、明るく、楽しく遊んでもらって成長したときに「住之江区はいいまちだなぁ」と思えるように持っていければいいなぁと。成長とともに違うところに住むかも知れないけれども、将来的にまた戻ってきてくれるよう活動をしていきたいと思います。また月に２回くらい清掃活動をしているのですが、地域の皆さんと一緒にやっていきたいと思っています。

（畑）　当社としては知識としてインプットした社員は数多くいるのですが、それをどのような形で地域にアウトプットしていくのか、今後、挑戦していきたいところではあります。「地域のヘルスケアネットワークを構築していく」というのも会社を挙げてやっていきたいことです。もっと外に出ればいろんな職種の人と繋がることになるので、そこから気付きが生まれて新たな発見になって信頼関係が繋がっていく、それがひとつの大きなネットワークになっていくのではないかと思います。

（宮高）　整理収納の資格を活かして、高齢者だけでなく、働く女性などの整理のニーズやこれから元気に生きていくためのエンディングノートの作成などを行っていきたいと考えています。また、地域で働き、地域で生活していく社会人教育のために、高校とも連携し地域の若者の雇用・受入れを積極的に行っていきたいと思います。

３　区役所・まちづくりセンターに求める役割

（久米）　情報発信に力を入れていただきたいです。当店には月に何万人というお客さまが来られますので、ポスターやチラシ等で周知の協力をさせていただきます。いろんな飲食店がありますので、そこにもう少し声かけをしていただきたいと思います。

（畑）　地域等へのアプローチを１年かけて行ってきましたが、相互の温度差もあり、１回限りで終わる場合が多かったので、こういった場でつなぎ役になっていただきたい。我々も連携をとりたいがノウハウがないので、中間的な支援をしていただきたいと思います。

（宮高）　区役所の仕事や役割を我々企業も理解する必要があると思っています。その上で地域の高齢化、子どもたちに関する課題や情報等を的確に伝えていただき、地域と我々をつなげていただきたい。相互に過度に期待したり、求めすぎることなく、持続可能な活動をスピード感をもって一緒につくっていきたいと思います。

【広報さざんか２０１７年１１月号特集１面】

昭和のまちに潜むアート

特集！

北加賀屋にあるつくる心

目　次

特集

北加賀屋にある

つくる心

１１～１３　おおさか掲示板

７～１０　住之江区「まちづくり」進化中！

６　施設からのお知らせ

５　催し

４　健康情報／各種相談

３　今月のお知らせ／子育て情報

２　すみのえトピックス

１　連載企画　　地活協通信（ちかつきょうつうしん）

ＶＯＬ.６加賀屋東

お知らせ（最終面より）

編集／発行

　住之江区役所　総務課

　〒５５９－８６０１

　大阪市住之江区御崎３丁目１番１７号

　電話６６８２－９９４７

　FAX６６８６－２０４０

区役所開庁時間

　月曜～木曜

　９時～１７時３０分

　金曜

　９時～１９時

　　（ただし１７時３０分以降は一部窓口のみ）

　毎月第４日曜

　　９時～１７時３０分（一部窓口のみ）

【広報さざんか２０１７年１１月号特集２面】

北加賀屋にある〝つくる〟心

対談

芝川理事長×西原区長

名村造船×北加賀屋

船を造（つく）った歴史と未来への想い

西原区長の写真

一般財団法人おおさか創造千島財団

芝川理事長の写真

名村造船所跡地前の壁画の写真

　木津川沿いには、大正～昭和にかけて、多数の造船所が立地していました。その後、産業構造が大きく変化したことから生産拠点の移転や撤退が進み、千島土地株式会社が土地を賃貸していた名村造船所大阪工場も、昭和６３年に同社に返還されることになりました。こうした中で、平成１９年に工場跡地は国の「近代化産業遺産」に認定され、これをきっかけに、現在では「アート発信地」として新しい創造の場に生まれ変わっています。

（西原）北加賀屋でのアートイベントは千島財団がいろいろ手掛けられたのが一番大きなポイントだと思っています。きっかけは何だったんですか？

（芝川）時代背景的にいろんな施設が閉鎖され、どんどんアーティストの活動の場がなくなっていると聞いたんです。長期的に腰を据えてやりたいという話があって、今に至っているということですね。

（西原）地域については、どう感じていますか？

（芝川）あと三、四十年したら戦後間もない人口に戻り、おそらく今以上に東京一極集中が進むに違いない、そんな姿になってもなんの不思議もないと思っています。なので、もっと特色あるまちづくりをしないといけないと思っています。

（西原）まちづくりには、もちろん行政もすごく力を入れないといけないし、土地を持っている千島さんのお力も欠かせない。住んでいる方々の意見も必要だと思います。いい感じでアートが根付いてきていると僕は思っているんですけど。

（芝川）これには転機がありまして、この地域が近代化産業遺産に選ばれたことです。区が扇の要になって、我々地主、地域住民の方々、アート関係者がまとまりました。

（西原）そういうところがうまく結びついて、地域の方々もうまくのってきて頂いたり、子どもたちもいいことだと思ってもらえたら嬉しいですね。

（芝川）地域の方々とも、考えを伝えあうことで、「まちのためになるね」と拒絶反応もなくなり、いい関係にあります。

（西原）今後の話になりますけれども、北加賀屋はどうなっていけばいいと思いますか？

（芝川）ひとつは木津川沿い工業専用地域。一時代前の工業のイメージは「もの」なんですよ。でも今は、コンテンツが工業製品みたいになってきたんで、僕は工業地帯の新しいまちづくりの手法として「コンテンツ」作りを打ち出していってはどうかと思っています。工業というイメージもどんどん変わっていますからね。

（西原）そうですよね。もはや世界はコンテンツで動いていますからね。ものをコピーして作ることよりも、どんなイメージでものを創造していくかという方が大事だと思います。北加賀屋がその起点になればいいですよね。

（芝川）まちづくりになったらある程度角度を変えてみてやっていかないと。物事を杓子定規に考えてしまうと金縛り的になって動けなくなってしまう。さっきの工業専用地域もそういう解釈でいかないと、何も前に進まないのかなと。

（西原）そうですね。前に進めてまちを開発していくことで、結果的にそのまちの土地資産の価値が上がり、地域の価値も上がっていい流れができるわけですよね。

（芝川）北加賀屋はまちづくりしやすい。南港は水色や青色のイメージがありますが、北加賀屋はイメージが未だなく、白。何もないとなるとイメージは作りやすいです。色は何色かわからないけど、アートとか創造的なまちというのはかなり伝わりつつあります。

（西原）これから何か生み出そうと創造していくときにすでにイメージがついていると難しいですよね。何もない、白のキャンパスから作る方がいいですよね。

（芝川）最近嬉しいのは、うちの物件以外でもクリエイティブな活動が始まりつつあることです。だんだんまちが本物になっていく。そういうのが広がっていくと面白いのかなと。

（西原）僕は、いろいろ考えて何かを作っていくことは、若い人だけではなく、歳を重ねた方々にもいいと思います。アートというひとつのテーマでまちが変わってきているし、未来に対して創造的ということはとてもいいことだと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

インタビュー

人×北加賀屋

まちの魅力を作（つく）る

さざんか加賀屋協議会　佐藤副会長の写真

　北加賀屋地域には、「さざんか加賀屋協議会」という地域活動協議会が組織されています。地域の皆さん自らが、地域の様々な問題の解決や地域コミュニティの活性化に向け、色々な活動やイベントを行っています。

いつから北加賀屋に？

（佐藤）高校卒業後、１８歳のときに西成区から引っ越してきました。その後、結婚し、現在の家に住んでいます。

北加賀屋のお気に入り・おすすめの場所は？

（佐藤）北加賀屋天満宮はおごそかな雰囲気があり、おすすめの場所です。「気」をもらってください。

北加賀屋の良い所は？

（佐藤）住んでいる人がみんな気さくで、お付き合いも広いんです。町会のいろんな行事があり、協力もしてくれて楽しいですよ。最近は身体がついていかないですが。

アートによって地域がどう変化した？

（佐藤）いろんな人が北加賀屋に来るようになり、たくさんの人が集まるようになってきました。特に若い方が多く、新しいお店も出来て、年配の方もそこに行くようになりました。年齢の差がなくなるっていうのかな、若者が活発になってきたなと思います。まちも活気づいてきて、外国の方も見るようになったかな。

地域活動を通じて得たことは？

（佐藤）空気を読まないといけないことを学びました。それから、上に立ったらまわりが何と言おうが、ぱっと決めないといけないなということを経験させて頂きました。判断が大切ですね。でも、難しいですね。

地域活動への想いを聞かせてください。

（佐藤）いろんな町会の役を経験させて頂いて良かったなと思っています。悔しいことや、涙したこともありますが、それ以上に、勉強をさせて頂き育ててくださった町会の人たちに感謝しています。

これからの北加賀屋への想いは？

（佐藤）地域の方々がもっと仲良くなればいいなと思います。また、女性の地位が上がればとも思います。そのためにも、自分がしっかりしないといけないですし、自分自身はまだ十分でないと思います。

　いろんな行事がたくさんできているので、このまま発展していけばいいなと思っています。それから福祉会館でいろんな老人向けの講座が開かれているので、これからもそういうものが充実していければより暮らしやすくなるのではないでしょうか。

【広報さざんか２０１７年１１月号特集３面】

インタビュー

アート×北加賀屋

創（つく）るに集う

アートプロジェクト集団

　鞦韆舘（しゅうせんかん）　佐藤代表の写真

昨年の「すみのえアート・ビート」で制作された短編映画用の美術オブジェの写真（作・せんのさくら）

　北加賀屋を芸術や文化の集まる創造的なまちにする試みが始まりました。アート、演劇、ダンス、音楽、建築など種類を問わず創造的な活動を担う人々が集まっています。

どうして北加賀屋へ？

（佐藤）名村造船所をイベントスペースにリノベーションし、北加賀屋エリアの空き家や工場をアーティストの拠点にしようと計画している知人の紹介で、初めてこのまちに来ました。実際、空き家を見学させてもらったのですが、リノベーションしても原状復旧しなくて良いとか、家賃が相場より安いなど、好条件でした。それで北加賀屋を拠点にして、演劇やダンス、音楽ライブなどの表現活動をスタートさせたのです。

地域とはどうやって関わりましたか？

（佐藤）はじめて北加賀屋へ来たとき、まずは地域の人にいろいろ話を聞いたんです。どんなまちづくりも地域の人々の協力なくして実現しないと思います。だからまず町内会の会長に話をしに出向きました。それから運動会や敬老会など、町内会のイベントには率先して参加するようになると、次第に顔を覚えてもらえ、町内の方々の理解を得られるようになりました。地域の人と話をすることで、やろうとすることへの誤解がないように進めていくことができたと思います。

「アート」が地域に根付いていってるなと感じますか？

（佐藤）敬老会や地域のお祭りではダンスや歌を披露させてもらったり、加賀屋小学校の創立百周年記念として、美術作品によるモニュメントを制作させてもらいました。前はこちらからお願いすることが多かったけれども、今は頼まれる回数が多くなってきました。根付いたという実感はないですが、芽が出てきたのではと思っています。北加賀屋にはいろんな人がいるので、そういうところに話が舞い込んできているというのは、ようやくスタート地点についたというところでしょうか。

見てほしいポイントは？

（佐藤）このまちの昭和的な雰囲気をそのまま残し、アートの力で活性化させていくことをめざしているので、北加賀屋のまちのあちこちにいろんな美術作品が目につきます。壁画はもちろん煙突や車止めにも絵が描いてあったりとか。それらを探して歩くのも楽しいまちになってきました。

「アート」の魅力は？

（佐藤）モノの考え方や見方などは、ややもすれば固定しやすい。そこに変化をつけるのがアートの力だと思います。たとえばみんなが右を見ているとき、「左も見ようよ」と発案、発信する力です。まちにアートが浸透していくことで、そこに住む人、ここを訪れる人のモノの考え方や見方が豊かに広がっていくような気がしています。

これからの北加賀屋への想いは？

（佐藤）舞台芸術や美術、音楽、創作工房など、それぞれのジャンルで北加賀屋が、ここ数年、注目を集めています。このまちに拠点を構えるアーティストやクリエイターの地道な活動の成果だと思います。これほどスピーディーに変化する北加賀屋なので、ここを訪れたり、ここに住む人たちの数もさらに増えていくでしょう。

アート・食・農のコラボが楽しめる

すみのえアート・ビート２０１７

入場無料

１１月１２日（日曜日）雨天決行

１１時から１６時

会　場

クリエイティブセンター大阪

（近代化産業遺産・名村造船所大阪工場跡地）

大阪市住之江区北加賀屋４－１－５５

イベント詳細は、駅構内等に設置のチラシをご覧ください。

すみのえアート・ビートと同時開催！

大型アート作品を一般公開

Open　Storage　２０１７

—見せる収蔵庫—

「クリスピーな倉庫、クリーミーな部屋」

２０１７年１１月３日（金曜・祝日）〜２６日（日曜）　「金曜・土曜・日曜・祝日のみ」　入場無料

会場　MASK（MEGA　ART　STORAGE　KITAKAGAYA）

お問い合わせ　TEL.０６－６６８１－６１７０

ぜひお越しください